



ガンジス川 (イメージ)

INDIA

お申込要領

期 間: 2012年2月29日(水) ~ 3月10日(土)
【11日間】

旅行代金: 250,000円 (成田空港発着、添乗員同行)

※食事回数: 朝9、昼9、夕9 (機内食を除く)

燃油サーチャージ (2/17現在25,660円)、

ビザ費用 (実費2,135円) は含まれません。

(弊社でビザ代行申請は別途6,300円)

お一人部屋追加料金: 15,000円 (デリーのみ)

申込金: 50,000円

定員30名、最少催行人員15名

◎ 申込方法

1. カイラスまで申込書を郵送かファックスしてください。
2. 請求書、振込用紙、保険の案内、返信用封筒などを送ります。

申込締め切り: 2012年1月6日(金)

◎ 旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第961号

エアワールド株式会社

大阪市中央区内本町2-2-14-207

◎ お申込み・お問合せ

東京都知事登録旅行業者代理業第11078号

株式会社カイラス

担当: 落合一民

〒186-0005東京都国立市西2丁目29-1

TEL: 042-843-2620 FAX: 042-843-2621

Mail: travel@kailash.jp

◎ 総合旅行業務取扱主任者: 落合一民

総合旅行業務取扱主任者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所で取引に関する責任者です。

この旅行契約に関し、ご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の主任者にお尋ね下さい。

ご注意

●旅行代金はエコノミー席利用の場合の代金です。●交通機関の都合等やむを得ない事情により、発着時刻、訪問地、宿泊地、利用ホテル等、日程の一部に変更を生じることがあります。●機内食は食事回数に含まれておりません。機内食は利用便によって軽食となったり、提供されない場合や、ホテル、レストランの食事となる場合があります。また、逆にホテル、レストランの食事が機内食に変更となる場合があります。●現地国内線は、機材調整また、全離発着が整備されていないために、予告なく運休や大幅な遅延、予約超過が起きる事があります。又、運行スケジュールも頻りに変更になります。その際には、空路を変えてバスや列車などで移動することになり、やむなく観光などが一部変更、割愛になります。●当旅行の訪問国では各宗教や各州によって祝祭日があり、直前でないとわからない場合もあります。観光施設の突然の休館もあります。●食事は可能な限りレストランでおとりいただきますが、スケジュール上や衛生上やむを得ず簡単なお弁当を御用意することも御座います。

■航空機は日程表中に記載された便を予定しておりますが、利用便の都合上他の便、または他の航空会社に変更となる場合がございます。

■宿泊ホテルを記入している場合でも、現地事情により同等クラス以上のホテルをご利用いただく場合があります。各地の変更ホテルは以下の通りとなります。

デリー: ゴータムデラックス、レグンドコンチネンタル、アウロデアジサ、アシュールパレス、スウォーンパレス、タージプリンセス、ロイヤルレジデンシー、アマニ、シンコンチネンタル、サンスター、ビルパレス

旅行条件(要約) お申込の際には、必ず旅行条件書をお受け取り下さい。

お申込時に詳しい旅行条件書をお受け取り下さい。

この旅行は、エアワールド株式会社(大阪市中央区内本町2-2-14-207観光庁長官登録旅行業第961号(以下、当社))が旅行企画、実施するものであり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行約款の内容、条件は別途お渡しする旅行条件書、最終日程表ならびに当社募集型企画旅行約款によります。

旅行代金に含まれている経費

旅行日程に明示した、航空、船舶、鉄道等利用交通機関の運賃、旅行日程に含まれる送迎バス等の料金。旅行日程に明示した観光料金(バス料金、ガイド料金、入場料)、宿泊の料金、税、サービス料(二人部屋に二人ずつの宿泊で、バス・トイレ付きを標準とします。地域によりバスタブがなくシャワーのみの部屋となる場合があります。食事の料金・税・サービス料。手荷物運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員同行コースの同行費用、羽田空港施設使用料(2,540円)、現地空港税

旅行代金に含まれていない経費

超過手荷物料金、クリーニング代、電報電話料、飲物代、記念写真代、ホテルのボーイ・メイド等に対するチップ、その他個人的性質の諸経費。燃油サーチャージ(9/6 21,500円)、ビザ費用お土産品及び持ち込み品にかかる関税等。お客様の傷害、疾病に関する医療費、予防注射(任意)、入院費、旅行日程に明示されていない食事料金、自由行動中の諸費用。一人部屋追加代金、日本国内の出発空港までの交通費及び宿泊費並びに到着空港からの交通費及び宿泊費、

●旅券取得の際の印紙代……10000円又は15000円 ●旅券申請書類作成料……2100円

取消料

●旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降前々日まで……旅行代金の20%

●旅行開始日の前日から起算してさかのぼって前日にあたる日以降まで……旅行代金の50%

●無連絡不参加、旅行開始後の解除……旅行代金の全額

旅行代金の基準日 2011年9月6日

初めてのインド

～ ヨガに耽る11日間の旅～

インターナショナル・ヨガ・フェスティバル@リシケシ参加ツアー



ガンジス川 (イメージ)

日程表

	日程	発着地	時刻	交通機関	適用
1	2月29日(水)	成田空港 デリー	発着 11:30 18:00	AI307	午前9時30分、成田空港集合 エアインディア航空にてインドの首都 デリーへ。夕食後、ホテルへ 食事：ナシ・機・夕(デリー泊)
2	3月1日(木)	デリー ハリドワール リシケシ	発着 06:55 11:22 13:00	2017 専用車	列車にてハリドワールへ 到着後、リシケシへ ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
3	3月2日(金)	リシケシ			ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
4	3月3日(土)	リシケシ			ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
5	3月4日(日)	リシケシ			ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
6	3月5日(月)	リシケシ			ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
7	3月6日(火)	リシケシ			ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
8	3月7日(水)	リシケシ			ヨガフェスティバル 食事：朝・昼・夕(リシケシ泊)
9	3月8日(木)	リシケシ デリー	発着 09:00 16:00	専用バス	専用バスにてデリーへ 夕食後、ホテルへ 食事：朝・昼・夕(デリー泊)
10	3月9日(金)	デリー	発 21:10	AI306	午前は自由行動 午後はデリー市内観光 空路、帰国の途へ 食事：朝・昼・機
11	3月10日(土)	成田空港	着 08:00		お疲れさまでした 食事：機・ナシ・ナシ

※時刻は成田発着以外すべて現地時刻です。インドは日本時刻マイナス3.5時間です。
※スケジュールは飛行機会社、現地の都合により急に変更になることがあります。

◎ アシュラムでの生活

滞在中、アシュラムでのプログラムは、以下のようになっています。
(但し3/7(水)は、午前中にチャリティー・イベント、ヨガ・エイド・チャレンジが
開催されます。www.yogaaid.com)

04:00 ~	クンダリーニ・ヨガ、アシュタンガ・ヨガ早朝朝練クラス
06:30 ~ 07:30	ヨガ・クラス
07:30 ~ 08:30	朝食
08:30 ~ 10:30	ヨガ / 座学クラス
11:00 ~ 12:30	ヨガ / 座学クラス
12:30 ~ 13:30	昼食
13:45 ~ 15:15	ヨガ / 座学クラス
15:30 ~ 17:00	ヨガ / 座学クラス
18:00 ~ 19:00	ガンジス川畔で夕方のお祈り
19:30 ~	夕食
夕食後 ~ 21:30	高僧らによる講話や、祈りの歌(ゴスペルのインド版の ようなもの)の唱和、それに合わせてのダンス、キャンプ ファイヤーなど

※アシュラム側の決定により予告なく変更される場合もございます。

尚、これはあくまで、アシュラムの一日の基本的なスケジュールであり、アシュラム滞在者は、全てのプログラムへの参加が義務付けられている訳ではありません。適宜、興味のあるセッションを受講(恐れ入りますが、体調不良以外は中座はご遠慮願います)し、それ以外の時間を街の散策、自身のお部屋でくつろいで頂く等に充てて頂いてかまいません。

◎ 宿泊施設について

現在のところ2人の相部屋を予定しています。

滞在先名：Parmarth Niketan Ashram (パルマート・ニケタン・アシュラム)
日本で言うならば、宿坊(宿泊施設がついているお寺)のようなものです。
本アシュラムは、インターナショナル・ヨガ・フェスティバル開催会場でもあります。
ウェブ：www.parmarth.com

◎ インターナショナル・ヨガ・フェスティバル講師陣

日本から参加の綿本 彰氏(現地で合流、最低3クラス担当)を始めとして、地元インドのみならず世界中から著名なヨガ講師が集結します。例：グルムーク(クンダリーニ・ヨガの世界的指導者)、ロベルト・ミレット(イタリアのカリスマ・ヨガ・ティーチャー)、スワミ・ダヤーナンダジ師(ヴェーダを説く第一人者)、他、を予定しています。



綿本 彰氏プロフィール

幼い頃からヨガをはじめ、1994年から指導を開始。2003年には日本初のパワー・ヨガ専門スタジオをオープン。現在は綿本ヨーガスタジオで指導を行う。他にも、指導者の育成、書籍、雑誌、テレビなどのメディアを通してヨガの普及を行っている。
www.yoga.jp



アシュラム (イメージ)



Rishikesh
Yoga
Tour